



日立市コミュニティ推進協議会 国体へのお客様をきれいなまちと花で歓迎！

会期前競技がスタートした茨城国体に向け、日立市コミュニティ推進協議会は、2年前に国体推進委員会を立ち上げました。花いっぱい運動やクリーンアップ運動などに取り組むことで側面から応援しています。

街頭キャンペーンとクリーンアップ運動で国体PR

7月12日(金)午前7時15分から、日立、常陸多賀、大甕の各駅前で行った国体街頭キャンペーンとクリーンアップ運動(駅周辺の清掃活動)を行いました。当日は雨天のため、常陸多賀駅前のみ清掃活動を実施しました。

地元高校生や国体ゆめサポーターの皆さんと共に、通勤・通学で駅を利用する人たちに、うちわやポケットティッシュなどの啓発グッズを配布しながら国体のPRを行いました。



高校生も雨の中で国体PR

日立駅では、国体のマスコットキャラクター「いばラッキー」も登場し、握手に、記念撮影にと大忙しでした。

新たに花壇整備 歓迎とコミュニティPRも

各コミュニティではこれまでも地域の環境美化活動で花いっぱい運動を行っていますが、今年度は国体会場周辺をたくさんの花で飾ろうと、コミュニティ推進協議会で花壇整備に取り組むことになり、国体推進委員会を中心に協議を重ねて進めてきました。

花壇の場所は、三菱日立パワーシステムズ日立工場西側の「洞門通り」から「中央線」に入る三差路の「稲荷山ロータリー」です。

色とりどりの花で、大会マスコット「いばラッキー」を模した植込みに加え、市民の皆さんが育てたプランターも設置しています。

また、花壇内に設置している2つの看板は、日立市への歓迎とコ

ミュニティ活動の紹介を行っています。是非ご覧ください。

炬火イベント コミュニティも火おこしで応援

7月20日(土)、日立シビックセンター新都市広場で「日立市炬火イベント」が開催され、コミュニティの国体推進委員も参加しました。来場者にマイギリを使って火をおこしてもらい、それらの火を1か所に集めて「日立市の火」が誕生しました。

地元の味でおもてなし おふるまいコーナー

地元食材を使った料理で来場者を迎える「おふるまい無料おもてなしコーナー」に、3学区コミュニティが自慢のメニューで参加します。

- ・池の川さくらアリーナ
9/29(日) 水木：あわび汁
10/4(金) 仲町：豚汁
- ・久慈サンピア日立スポーツセンター 体育館
10/5(土) 久慈：しらす汁

花育て講習会 ニチニチソウの育て方プロに学ぶ

6月24日(月)、日立市役所大屋根広場で「花育て講習会」が行われました。

この講習会は市内で花いっぱい運動に取り組むコミュニティのメンバーを対象としたもので、23のコミュニティから計58名が参加しました。講師には高萩市にある柴田農園の園芸家、柴田祐子さんを迎えて、プランターでのニチニチソウの育て方を学びました。

柴田さんは、「ニチニチソウは奥が深いんです」と語り、植え付けを行う際は苗が隠れないように注意すること、水やりは土が乾いてから冷たい水をたっぷりやることなど、花を育てるための具体的なアドバイスをされました。

実技講習ではプランターへ植え付けを行い、柴田さんに質問をしながら、和やかに作業を行う参加者の様子が見られました。

コミュニティで育てたプランターは、8月下旬から競技会場の



きれいな花を咲かせましょう!!

さくらアリーナや日立市民球場、久慈サンピア日立スポーツセンター体育館だけでなく、JR日立駅、常陸多賀駅、大甕駅など様々な場所に順次飾られます。

新たな地域課題の解決に向けて ごみ等排出困難世帯回収支援制度の検証事業

各地域では、人口減少や超高齢化に伴う新たな課題への対応を、コミュニティと市が連携しながら進めています。

特に、近年全国的にも大きな課題となっているごみ出しが困難な高齢者等への支援体制の構築は、日立市でも喫緊の課題となっており、コミュニティもその対策等について、市とともに検討してきました。

その結果、市やコミュニティのほか、地域の民生委員・児童委員にも協力してもらい、ごみ等排出困難世帯回収支援制度の検証事業に取り組むことになりました。

今回実施するコミュニティは、十王、日高、宮田、中小路、成沢、

**創意工夫で、時代のニーズに応える
住んでいてよかったと
思えるまちづくり！**

学区・地区	会長	交流センターTel
十王	深津 正孝	39-2411
豊浦	立川 伸平	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	大森 健一	42-1552
滑川	遠藤 進	22-1654
宮田	田尻 久	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	福地 稔昌	21-5564
中小路	吉岡 保夫	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	須田 育愼	25-1577
成沢	西 英信	35-5587
油繩子	白土 敏夫	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	作山 英一	34-0535
河原子	鈴木 東男	33-3746
塙山	西村 ミチ江	34-5404
大沼	神谷九二男	35-8329
金沢	泉 聡二	36-3985
水木	佐藤 孝志	52-3225
大みか	小松 信保	53-5211
久慈	石川 善憲	52-0165
坂下	大塚 雅夫	52-3155

※お問合せ、ご相談は交流センターへ

油繩子、大久保、金沢、水木の9箇所で、7月から10月まで行います。

この検証事業は、コミュニティごとに5世帯のごみ等回収対象世帯（日常生活において、自分ではごみ出しができない市民）を選び、コミュニティと市の担当者が、燃えるごみは週1回、再生資源や粗大ごみは月1回、自宅を訪問して回収するものです。

今後、今回の検証事業の結果を

コミュニティ代表者と市長の懇談会 新6項目に重点を置いた市政運営

7月22日（月）、コミュニティ代表者と市長との懇談会が開催され、23コミュニティの会長、副会長、事務局長などが出席しました。



市政への基本的な考えを話す小川市長

最初に小川市長の市政運営の基本的な考え方、令和元年度に推進する主な事業についての講話があり、1期目の成果を礎にして、新たな6つの項目に重点を置いた市政運営に取り組むこと、市政80周年記念事業などの説明がありました。

今年も実施！市役所新任職員 居住地区でコミュニティ研修

日立市役所の新任職員の「コミュニティ活動体験研修」が、今年度も実施されます。コミュニティ活動の理解を深めることを目的とした研修で、1年目の職員42人、2年目の職員47人の計89人が参加します。

事前研修としてコミュニティ組

まとめ、支援制度の内容について市と意見交換を行い、本格実施に向けて更に検討を進めるとともに、地域の実情やニーズに合った制度となるよう取り組んでいきます。



6項目は次のとおり。①地方創生・人口減少対策②安全・安心のまちづくり③人生100年時代を見据えた「超高齢社会への対応」④新時代の産業都市を目指す「産業振興」⑤まちの将来発展を支える「都市力の向上」⑥持続可能なまちづくり。

それぞれの項目には多くの新事業があり、持続可能なまちづくりではコミュニティとの協働が取り上げられ、コミュニティ活動のあり方検討を進めることが示されました。

また、令和元年度の予算概要が鈴木財政部長から説明されました。意見交換では、「コミュニティの担い手不足」、「日立市に映画館くらいは欲しい」、「交流センターでの行政サービスの可能性」、「パンダ誘致の現状」などの質問に、市長は事業の状況や考え方などを話されました。

組織の概要を学んだ後、各コミュニティに2人から8人に分かれて地域活動に加わります。例年、夏祭り・敬老会への参加や事前準備に関わることが多く、研修をきっかけに地域の他の行事にも参加するようになるなど、新任職員と地域をつなぐ一助となっています。

今年も、若い世代のアイデアを生かした取組を期待しています。



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

「地域」は子どもの成長を支える重要なキーワード！

学校、家庭、地域が連携・協働で子どもたちを育てるための学校運営協議会や放課後子ども教室がスタートしています。

5 小学校区で放課後子ども教室 地域の応援で多彩な活動

日立市ではすべての子どもが放課後の時間を安全に過ごし、様々な体験や活動を通して、他学年や地域の人との交流の機会を得られる居場所づくりの一環として「放課後子ども教室」を行っています。

教育委員会生涯学習課の委託を受けて、平成30年度に田尻小・滑川小・塙山小学区で3教室が開設され、令和元年度には坂本小・会瀬小学区で始まりました。

田尻教室は「NPO法人ひたち親子の広場」、滑川教室は「NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ」、塙山教室は「塙山学区住みよいまちをつくる会」、坂本教室は「(株)アンフィニ」、会瀬教室は「会瀬学区コミュニティ推進会」が受託しています。

各教室は5月中旬から始まり、長期休みを除く翌年3月まで、週1回地域の特性を活かした活動を

行っていきます。

7月4日(木)、放課後子ども教室研修会が開催され、「特別な配慮を要する子どもへの理解と対応」についての講話がありました。情報交換では、各教室から事業計画や活動状況、課題などを報告し、お互いに参考になる研修会になりました。

7月29日(月)には、市教育研究所主催の研修会「発達支援が必要な子どもの多様性の理解と支援について」が開催されました。子どもたちの支援には、大人にも新たな学びが求められるようになってきました。



各教室から活動報告

学校運営協議会の試行実施 地域とともに全小学校で！

地域とともにある学校づくりを推進するため、地域や保護者が学校の運営に参画する仕組み「学校運営協議会」が設置されました。

日立市では平成29年度から既存の組織「学校評議員会」を発展させ、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)のモデル校として、会瀬小学校、駒王中学校の2校でスタートしました。

平成30年度には、会瀬小、駒王中、中小路小、宮田小、塙山小、中里小、中里中、豊浦小、豊浦中の9つの小・中学校がモデル校として取り組みました。

日立市学校長会では先進地区を

視察、運営状況やその成果と課題について研修が行われました。

今年度は、全小学校、モデル中学校(駒王中、中里中、豊浦中)で試行実施に移行しました。

令和2年度には、小学校、中学校、特別支援学校の全学校で試行実施が始まり、令和3年度には本格実施することになっています。

また、学校と地域が連携・協働するための地域学校協働本部を設置、地域住民や団体等の参画によるネットワークの構築、地域で子どもの成長を支える活動も始まりました。

会瀬小は学校運営協議会が3年目になり、地域学校協働本部の活動も順調に進んでいます。

もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク

秋の恒例行事となった「日立の魅力再発見ウォーク」は21回目を数え、今年も各コミュニティが地域の特色を生かした魅力的なコースを企画しています。

全18コースの実施日は表のとおりです。コースの内容や申込期間など詳細は、市報やコミュニティ推進協議会のホームページ、日立市ホームページをご覧ください。

秋の爽やかな一日に、日立の魅力に触れながらウォーキングしてみませんか。どのコースにも参加できます。

令和元年度 日立の魅力再発見ウォーク実施日

学区・地区	実施日	市報掲載
1 十王	9月21日(土)	9月5日号
2 会瀬	9月29日(日)	
3 宮田	10月5日(土)	
4 大久保	10月12日(土)	
5 大沼	10月12日(土)	
6 坂下	10月12日(土)	
7 河原子	10月20日(日)	
8 久慈	10月26日(土)	10月5日号
9 仲町	10月27日(日)	
10 油繩子	10月27日(日)	
11 諏訪	10月27日(日)	10月20日号
12 水木	11月9日(土)	
13 田尻	11月10日(日)	
14 中里	11月10日(日)	
15 助川	11月13日(水)	
16 中小路	11月16日(土)	
17 滑川	11月17日(日)	
18 豊浦	11月23日(土)	

6月には恒例の全児童が参加する「海の学習会」「砂遊び集会」の見守りを、コミュニティ関係者がサポート。5年生の家庭科「ひと針に心をこめて」の授業には、地域の学習支援ボランティア8名が応援しました。

学校運営協議会が始まった学校では、地域とともに特色ある活動が進められていきます。





単会の活動紹介 時代のニーズに応えた特色ある取組

日立市コミュニティ推進協議会全体で進める活動のほか、コミュニティ単会が地域の実態に合わせて、創意工夫して実施している活動があります。時代のニ

ーズに応えた地域福祉、青少年育成、防犯・防災活動など、他の単会の参考になるような特色ある単会の取組を紹介していきます。

コミュニティを支える 大久保交流センターとの連携 大久保学区コミュニティ推進会

「大久保学区に住んでよかった」と実感できるよう、楽しくやさしい環境づくりを目標に「ふれあい、語らい、たすけあい」をモットーに、地域の皆さんが夢と希望を持てるような事業を推進しています。

大久保学区コミュニティ推進会の活動拠点である大久保交流センターとコミュニティの連携は、多賀市民プラザ開設の平成18年度から現在まで継続しています。

現在、協力員と管理員の12名で、昼夜の施設管理をしています。協力員はコミュニティ組織の「総務部」に位置しており、「敬老

会」や「大久保ふれあいまつり」の準備などを担います。

「敬老会」では総合司会や接待などを担当し、「大久保ふれあいまつり」では本部席を運営して、受付や抽選券発行などを担当するほか、会場準備や片付けなども行います。コミュニティの会計も事務所内に置き、各部との連携もスムーズに保たれています。

また、入園前の子育て支援事業には力を入れています。

0～1歳児を対象にした「ぴよぴよ親子クラブ」は、初めての子育てをするお母さんをサポートするため、毎年20組の親子を募集しています。4月には寝返りもできなかった赤ちゃんが、しっかり



大久保ふれあいまつり(大抽選会の様子)

歩けるようになって卒業していく成長の様子を、保育士やボランティアの皆さんも毎回楽しみに支援しています。

1～3歳児を対象にした「親子教室」は、親子のスキンシップや友だち作りの場として、毎年25組の親子を募集しています。どちらの事業も頼りになるボランティアの皆さんに支えられています。

百年塾フェスタ& 日立市子どもまつり2019

ひたち生き生き百年塾推進本部

「百年塾フェスタ&日立市子どもまつり2019」が10月20日(日)、日立シビックセンター・新都市広場・マーブルホール周辺を会場に今年も開催されます。

昨年、百年塾は日立市子ども会連合会との共催が初めて実現。話し合いを重ねながら、互いの良さを最大限に活かすための協力体制に力を注ぎました。オープニングでの子どもたちの元気な開会宣言や多賀中学校吹奏楽部の演奏をはじめ、子ども向けの楽しいテントが並ぶ会場には終日子どもたちの元気な声が響き、多くの人たちで賑わいました。子ども会側からも、会場設



ハロウィンパレード

営の負担の軽減や、全体として出店が充実したなどの声があり、互いに譲り合い助け合いながら相乗効果を上げることができたようです。

今年も様々な私たちの「いいね」の提供や子どもたちの活躍の場の創出、市民が思い思いの扮装で参加するハロウィンパレードなど、大人から子どもまで皆さんが楽しめるフェスタとなるように努めますので、ぜひお出かけください。

日立市一斉ラジオ体操の日

様々な場所で元気に一日のスタート

昨年から夏休み最初の日曜日を「日立市一斉ラジオ体操の日」とし、今年は7月21日(日)に各コミュニティが様々な場所で、工夫を凝らして取り組みました。

地域の仲間や子どもたちと一緒に梅雨空にも負けず、日立市出身の遠山喜一郎さんが考案したラジオ体操で、心と体をほぐして心地よい汗を流すことができました。

助川学区では、前日行われた夏まつりの後片付け作業前の準備運動を兼ねて行いました。また学校子ども会でも、児童と子ども会サポーターと一緒にラジオ体操に参加し、音楽に合わせて楽しく1、2、3と声を掛け合いました。